

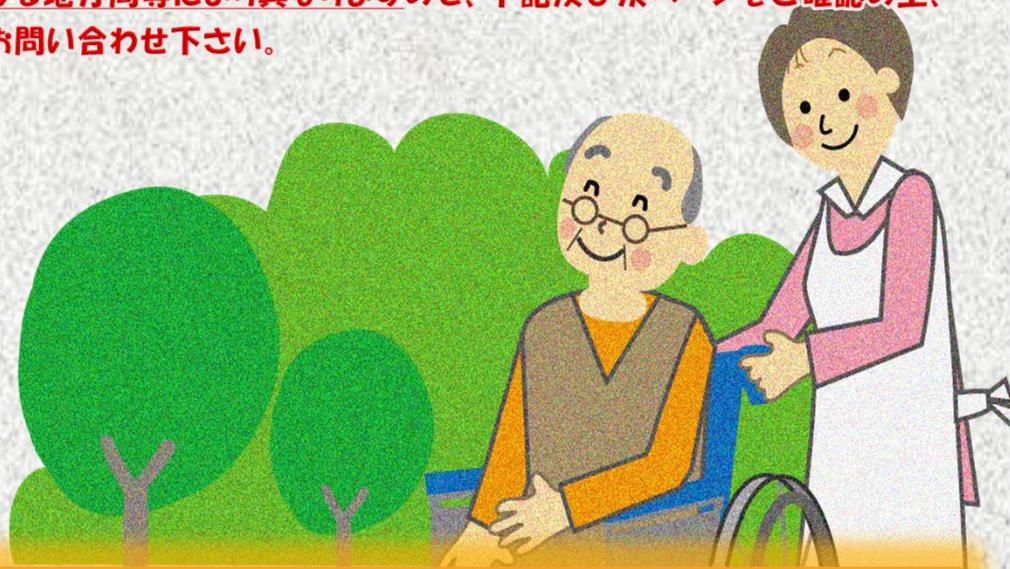
# 国土交通省バリアフリー化 推進功労者大臣表彰(第19回)

## 推薦案件を募集します！

公共交通機関、建築物、道路、駐車場、都市公園などの総合的で一体的なバリアフリー化を進めるとともに、国民のバリアフリー化に関する意識啓発にもより一層努めるため、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人や団体を表彰いたします。

### 【募集受付期間】 4月初旬から7月下旬頃まで

※募集受付期間は受付を担当する地方局等により異なりますので、下記及び次ページをご確認の上、該当地域の担当地方局等にお問い合わせ下さい。



#### ○募集対象

国土交通分野に係る施設・車両等のバリアフリー化や、バリアフリー化の普及・促進活動等に積極的に取り組んでいる個人又は団体が対象となります。（詳細は次ページをご参照下さい）

#### ○推薦案件の募集（案件の応募について）

募集対象に合致すると思われる案件がありましたら、次ページの国土交通省各地方支分部局等（以下「地方局等」）の連絡先まで幅広くご相談下さい。

また、事務局へ直接御応募（自薦）いただくことも可能となりますので、応募様式（※）にご記入の上、7月31日までに国土交通省総合政策局共生社会政策課までご提出下さい。

（自薦については団体のみ）

※応募様式URL：[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei\\_barrierfree\\_tk\\_000001.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000001.html)

#### ○表彰案件の選考方法及び表彰時期

地方局等から大臣表彰事務局へ推薦を行い、選考委員会における選定を経て、最終的には国土交通省が決定し、2026年3月頃に国土交通省本省において表彰を行う予定です。

# 【表彰の対象となりうる主な取組み事例と昨年度の受賞事例】

## ＜表彰対象となりうる主な取組み事例＞

- ・施設整備にあたって障害当事者や有識者等の意見を積極的に取入れ、設計や工事に反映しているもの
- ・「バリアフリー整備ガイドライン」の項目以外に独創的・先駆的な取組みを行っているもの
- ・「バリアフリー基本構想」に基づき施設や車両等の連続的なバリアフリー化整備を行っているもの
- ・事業者と地方自治体や障害者団体等の連携による取組みを行っているもの
- ・バリアフリー化推進のための人材育成などの取組みを行っているもの
- ・障害者等の社会参加を積極的に支援するなどの取組みを行っているもの
- ・子育て、認知症、発達障害等に対する支援等の取組を行っているもの

など、バリアフリー化推進のために取り組んでいる個人や団体の中から決定します。

## ＜昨年度の受賞事例＞

受賞者名	受賞内容
①宇都宮市 芳賀町 宇都宮ライトレール株式会社	○停留場における段差・隙間について、多くの障害当事者が乗降可能となるよう全ての停留場を整備している唯一のL R T。また、車椅子でも単独乗降しやすいよう幅員の確保や全ての停留場にスロープを設置するなど、工夫をしている。 ○市街地周辺における停留場付近の横断歩道は視覚障害者向けにエスコートゾーンが整備されている。 ○バスとの便利な乗り換えができるように、トランジットセンター（交通結節点）の整備等、高齢者や障害者のみならず地域住民の外出機会を創出している。
②社会福祉法人 ながよ光彩会	○医療・介護分野のノウハウを持つ社会福祉法人であることを活かし、乗降介助業務を受託している。鉄道会社から外部の社会福祉法人への乗降介助業務の委託は先進的な事例である。 ○障害当事者や長与町、JR九州等に働きかけ、長与駅および停車中の鉄道車両を使用し、地域住民や一般企業等の様々な属性の方を対象に、無人駅における助け合いを促進することを目的とした、座学とロールプレイングで「心のバリアフリー」を学ぶ研修プログラム（ユニバーサルアクションプログラム）を実施している。 ○このほか、駅構内に開設したカフェ・ショップの運営等様々な取組により、安心安全の確保や、賑わいの創出等の地域活性化を試みている。
②広島市	○感覚過敏等の特徴がある子どもたちとその家族が安心して観戦することができるセンサリールームを常設している。また、室内に、外部から音や光を遮り、静かに過ごせる場所であるカームダウンスペースも設置。 ○聴覚障害者が利用しやすくするため、観客席下の磁気ループにより、雑音に邪魔されず、場内音声を補聴器や人工内耳に届けることが可能な観客席（集団補聴設備）を設置している。 ○電動車椅子利用者が充電しながら観戦できるようにするため、各エリアの車椅子席にコンセントボックスを整備している。

※過去の受賞案件については、国土交通省ホームページ（[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei\\_barrierfree\\_tk\\_000001.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000001.html)）でご案内しています。

## 国土交通省各地方支分部局等連絡先

＜国土交通省本省＞ 総合政策局共生社会政策課 03(5253)8304(直通)

### ＜地方整備局＞：建築物・道路・駐車場・都市公園等に係るもの

北海道開発局開発監理部開発調整課 011(709)2311（大代表）  
 東北地方整備局企画部企画課 022(225)2171（代表）  
 関東地方整備局企画部広域計画課 048(601)3151（代表）  
 北陸地方整備局企画部広域計画課 025(280)8880（代表）  
 中部地方整備局企画部企画課 052(953)8119（代表）  
 近畿地方整備局企画部企画課 06(6942)1141（代表）  
 中国地方整備局企画部企画課 082(221)9231（代表）  
 四国地方整備局企画部企画課 087(851)8061（代表）  
 九州地方整備局企画部企画課 092(471)6331（代表）  
 沖縄総合事務局開発建設部建設行政課 098(866)0031（代表）

### ＜地方運輸局＞：公共交通機関等に係るもの[航空関係を除く]

北海道運輸局交通政策部共生社会推進課 011(290)2725  
 東北運輸局交通政策部共生社会推進課 022(791)7513  
 関東運輸局交通政策部共生社会推進課 045(211)7268  
 北陸信越運輸局交通政策部共生社会推進課 025(285)9152  
 中部運輸局交通政策部共生社会推進課 052(952)8047  
 近畿運輸局交通政策部共生社会推進課 06(6949)6431  
 神戸運輸監理部総務企画部 078(321)3145  
 中国運輸局交通政策部共生社会推進課 082(228)3499  
 四国運輸局交通政策部共生社会推進課 087(802)6727  
 九州運輸局交通政策部共生社会推進課 092(472)2333  
 沖縄総合事務局運輸部企画室 098(866)1812

### ＜地方航空局＞：公共交通機関等のうち航空に係るもの

東京航空局総務部航空振興課 03(5275)9315  
 大阪航空局総務部航空振興課 06(6949)6216